

出張報告書

令和8年 8 月 20 日

尼崎市議会議長 様

会 派 名 公 明 党
代表者氏名 福島 さとり
出張者氏名 蛸子 裕一 東浦 小枝子
藤野 裕利 田中 俊彦

このたび、出張しましたので、次のとおり報告します。

1 出張期間 令和8年7月27日から令和8年7月29日まで

2 結果の概要

用務先 伊勢志摩観光コンベンション機構 大府市 岡崎市 小牧市中央図書館	報告事項 (この欄には要点を箇条書きにし詳細事項がある場合は別紙添付) 1. 観光振興・MICE事業について 2. 認知症及び対策事業について 3. 狭あい道路拡幅整備について 4. 小牧市中央図書館の取り組みについて
添付書類 ■ 視察報告書4部 ☐ ☐ ☐	備 考

3 届出事項の変更等 ☐ なし ☒ あり (内容は裏面に記載)

旅 費 の 精 算

☐ 精算額は、令和 年 月 日届け出た額 (円) と同一額である。

☒ 届出事項の変更等により、別途精算する。(精算額は裏面に記載)

(裏面)

届出事項の変更等の内容

変更等の事項と理由

真鍋議員が諸事情により視察不参加となりましたので

交通費：15,890円

宿泊費宿泊手当：8,200円

合計：24,090円を戻入

※尚、自己都合の為、キャンセルにかかった費用はすべて自費負担

支 出 額	1 7 5 , 0 2 0 円
精 算 額	1 5 0 , 9 3 0 円
支出 差引 額 戻入	2 4 , 0 9 0 円

変更前と後の日程

月	日	日	日	日	日	日	日
前 発着地							
後							
前 経 路							
後							
前 用務先							
後							
前 宿泊先							
後							

旅費明細書 (第6号様式 付表)

旅 費 明 細 書

会派名	公 明 党	氏名	藤 野 勝利
-----	-------	----	--------

単位:円

日付	発	着	交通手段	運賃	急行料金等	備考
7月27日	尼崎	鶴橋	JR	320		
	鶴橋	伊勢市	近鉄	2,170	1,340	伊勢志摩ライナー
	伊勢市	二見浦	JR	210		
	二見浦	大府	JR	2,500	530	二見浦～名古屋:快速みえ20号
7月28日	大府	刈谷	JR	200		
	刈谷	東岡崎	名鉄	460		知立～東岡崎 :名鉄快速特急(一般車)
	名鉄東岡崎駅	岡崎市役所	バス	200		
	岡崎市役所	名鉄東岡崎駅	バス	200		
	東岡崎	金山	名鉄	690		
	金山	小牧	地下鉄+名鉄	600		地下鉄平安通経由
7月29日	小牧	名古屋	名鉄+地下鉄	600		地下鉄平安通経由
	名古屋	尼崎	JR	3,410	3,270	名古屋～新大阪 :新幹線のぞみ379号
交通費計				11,560	5,140	16,700

日付	宿泊地	宿泊費	宿泊手当	包括宿泊費	備考
7月27日	大府市	6,600	1,600		アズイン大府
7月28日	小牧市	11,000	1,600		小牧シティホテルbyラックホテルズ
宿泊費等計		17,600	3,200		20,800

旅費合計				37,500
------	--	--	--	--------

旅費明細書 (第6号様式 付表)

旅 費 明 細 書

会派名	公 明 党	氏名	東浦小波子
-----	-------	----	-------

単位:円

日付	発	着	交通手段	運賃	急行料金等	備考
7月27日	出屋敷	大阪難波	阪神	340		
	大阪難波	伊勢市	近鉄	2,170	1,340	伊勢志摩ライナー
	伊勢市	二見浦	JR	210		
	二見浦	大府	JR	2,500	530	二見浦～名古屋:快速みえ20号
7月28日	大府	刈谷	JR	200		
	刈谷	東岡崎	名鉄	460		知立～東岡崎 :名鉄快速特急(一般車)
	名鉄東岡崎駅	岡崎市役所	バス	200		
	岡崎市役所	名鉄東岡崎駅	バス	200		
	東岡崎	金山	名鉄	690		
	金山	小牧	地下鉄+名鉄	600		地下鉄平安通經由
7月29日	小牧	名古屋	名鉄+地下鉄	600		地下鉄平安通經由
	名古屋	大阪	JR	3,410	3,270	名古屋～新大阪 :新幹線のぞみ378号
	大阪梅田	出屋敷	阪神	250		
交通費計				11,830	5,140	16,970

日付	宿泊地	宿泊費	宿泊手当	包括宿泊費	備考
7月27日	大府市	6,600	1,600		アズイン大府
7月28日	小牧市	11,000	1,600		小牧シティホテルbyラックホテルズ
宿泊費等計		17,600	3,200		20,800

旅費合計				37,770
------	--	--	--	--------

旅費明細書

單位: 円

旅費合計	37,830
------	--------

旅費明細書 (第6号様式 付表)

旅 費 明 細 書

会派名	公 明 党	氏名	田 中 俊 幸
-----	-------	----	---------

単位:円

日付	発	着	交通手段	運賃	急行料金等	備考
7月27日	塚口	鶴橋	JR ✓	320		
	鶴橋	伊勢市	近鉄 ✓	2,170	1,340	伊勢志摩ライナー
	伊勢市	二見浦	JR ✓	210		
	二見浦	大府	JR ✓	2,500	530	二見浦～名古屋:快速みえ20号
7月28日	大府	刈谷	JR ✓	200		
	刈谷	東岡崎	名鉄 ✓	460		知立～東岡崎 :名鉄快速特急(一般車)
	名鉄東岡崎駅	岡崎市役所	バス ✓	200		
	岡崎市役所	名鉄東岡崎駅	バス ✓	200		
	東岡崎	金山	名鉄 ✓	690		
	金山	小牧	地下鉄+名鉄	600		地下鉄平安通経由
7月29日	小牧	名古屋	名鉄+地下鉄	600		地下鉄平安通経由
	名古屋	塚口	JR ✓	3,740	3,270	名古屋～新大阪 :新幹線のぞみ379号
交通費計				11,890	5,140	17,030

日付	宿泊地	宿泊費	宿泊手当	包括宿泊費	備考
7月27日	大府市	6,600	1,600		アズイン大府
7月28日	小牧市	11,000	1,600		小牧シティホテルbyラックホテルズ
宿泊費等計		17,600	3,200		20,800

旅費合計				37,830
------	--	--	--	--------

会派視察報告書

2026.8.4

日時：2026年7月27日14:00～15:30

視察場所：伊勢志摩観光コンベンション機構 伊勢市二見総合支所

視察内容 <観光振興・MICE 事業について>

参加者：藤野裕礼、中子/君、田中俊幸、東浦小夜子

報告者：東浦小夜子

伊勢志摩観光、MICE 事業の基本と地方創生への活用について

観光振興における強力な経済エンジンとして期待される「MICE（マイス）」今回、伊勢志摩地域での先進的な成功モデルを、さまざまな角度から教示いただきました。

観光施策を検討する際、一般的なレジャー観光と、ビジネスや学術を目的とした「MICE」を明確に区別する必要があります。MICE は単なるイベント招致ではなく、地域に「高付加価値層」を呼び込み、持続的な経済循環を生むための手段です。

MICE を構成する 4 つの要素と重要性

- M (Meeting) : 企業等の会議・研修。組織の意思決定や教育の場。
- I (Incentive travel) : 企業等の報奨・研修旅行。成績優秀者の招待など、企業が多額の予算を投じるため消費額が非常に大きく、地域への経済効果が高いのが特徴です。
- C (Convention) : 国際機関・団体、学会等が行う会議。長期滞在や周辺観光につながります。
- E (Exhibition/Event) : 展示会・見本市、イベント。広範なビジネス機会と交流を創出します。

1. 一般観光客と MICE 客の違い

MICE 客は「高付加価値層」であり、滞在期間の長さや消費単価の高さにおいて一般観光客を大きく上回ります。伊勢志摩地域の事例では、単一地点での消費に留まらず、**「広域での集客」や「周遊施策の推進」**を成果として明確に位置づけています。

強固な戦略には、それを支える安定した組織基盤が不可欠です。事業を推進する体制と予算の構造を確認しました。

2. 伊勢志摩観光コンベンション機構の事業基盤分析

持続可能な誘致活動を展開するためには、単年度のイベント予算ではなく、組織としての継続的な活動予算の確保が重要です。

項目	内容
年間必要予算	約 63,000 千円（一般会計）
主な成果	伊勢志摩地域（広域）での集客、周遊施策の推進
広報・情報発信	機構ウェブサイト（HP）、SNS を多角的に活用
導入の成果	「広域連携による周遊」の実現。自治体単体では困難な広域ネットワークの構築。

伊勢志摩では、HP や SNS を駆使した情報発信に加え、後述する広域ネットワークへの参画により、地域全体を一つの「面」として売り出す体制を整えています。

3. インバウンド・高付加価値層を呼び込む受入環境整備

MICE 客、特に海外からの高付加価値層を呼び込むには、受け入れ側の「環境整備」と、戦略的な「プロモーション」の両輪が不可欠です。

ターゲット戦略

- ・ メインターゲット：欧米豪およびアジア圏の高付加価値旅行者層。
- ・ 第2ターゲット：アジア近隣諸国（韓国、台湾、香港、タイ、シンガポールなど）。

地域事業者が習得すべきスキル（受入環境の質的向上）

地域全体で「稼ぐ力」を高めるため、以下の項目を教育カリキュラムとして事業者に浸透させる必要があります。

- ・ OTA（オンライン旅行会社）の活用：デジタル予約導線の確立。
- ・ AI 活用：業務効率化とパーソナライズされた情報提供。
- ・ 多言語対応・SNS 活用：ターゲットの言語（英語、仏語、繁体字等）に合わせた直接発信。
- ・ 合同セールス：**「インバウンド営業方法」**の習得。単独ではなく地域一丸となった営業スキルの向上。

多角的な発信体制、ウェブサイトでは、年に1～2本のペースで多言語の特集記事を更新し、鮮度の高い情報を発信し続けることが求められます。

4. 戦略的プロモーションと MICE 誘致の実践

MICE 誘致は、数年先を見据えた緻密な営業活動の積み重ねです。伊勢志摩では、以下のようなフローで確実な実績を積み上げています。

誘致プロセスの構造化

1. 商談会・旅行博での接点構築 国内の VJTM だけでなく、ILTM Cannes（フランス）や ILTM APEC（シンガポール）、Japan Road Show（豪州）など、世界規模の舞台でパイヤーとのコネクションを形成します。
2. 国内 DMC との連携 地域事業者と国内 DMC（地域特化型の旅行会社）をつなぐ商談会を開催し、具体的な旅行商品化を促します。
3. ファムトリップ（下見招待）による視察対応 商談で関心を持った決定権者を招待し、現地の施設や魅力を体感させることで、成約率を飛躍的に高めます。

MICE 開催支援メニュー

主催者がその地域を選ぶ決定打となる「メリット」を可視化しています。

- ・ 施設調整：会場の紹介から調整までのワンストップ対応。
- ・ 経済支援：助成金の活用。
- ・ 歓迎演出：看板、パンフレット、手提げ袋の提供等による「歓迎の意」の表明。

誘致実績：中長期的な計画性の証明

伊勢志摩では、数年先まで案件を積み上げる「ストック型」の誘致に成功しています。

- ・ 2023 年：6 件
- ・ 2024 年：7 件
- ・ 2025 年：16 件（うち国際会議 3 件）
- ・ 2026 年：9 件
- ・ 2027 年：3 件
- ・ 2028 年：1 件

5. 尼崎市が、伊勢志摩モデルから学ぶこと

1. 広域連携ネットワークへの戦略的参画

尼崎市は単独で動くのではなく、伊勢志摩も活用している広域ネットワークへ深くコミットすべきです。

・ 近畿コンベンション連絡会への参画を軸に、大阪・神戸との周遊ルートを確立する。・ 中部コンベンション連絡協議会のような他地域の事例も参考にしつつ、一般社団法人日本コンベンション協会（JCMA）の特別会員となることで、最新の誘致ノウハウと業界ネットワークを直接確保する。

2. ターゲットの明確化

待つ姿勢ではなく、明確なターゲットに対する「攻めの営業」が不可欠です。

・ ターゲット：近隣の大学、学会事務局、旅行エージェント、そして PCO（専門運営会社）等。

<まとめ>

MICE 事業は、単なるイベント招致の域を超え、地域の受入環境をデジタル化・多言語化させ、「地域経済の循環」を生む持続可能なエンジンとなります。伊勢志摩が5年間の国費事業を通じて「稼ぐ力」を養っているように、本市も、中長期的な視点で MICE を都市戦略の核に据える必要があると感じた。また、伊勢志摩は、伊勢神宮を中心とした伝統文化と地域の魅力を再発見し、それを「商品」や「体験」として形にしている、本市においても、行政区域の枠を超えた広域連携をして町の魅力向上の取組の参考にしたいと感じた。



行政視察（会派）レポート

2026 年 8 月 3 日

日時： 2026 年 7 月 28 日（火） 10:00～11:30

視察先： 愛知県大府市 大府市役所

大府市側参加者： 大府市市議会議員 早川高光氏（冒頭のみ）

大府市市議会議員 太田和利氏

大府市福祉部高齢障がい支援課 課長 深谷雄紀氏

大府市福祉部高齢障がい支援課 高齢福祉係 係長

大府市福祉部高齢障がい支援課 高齢福祉係 主事

公明参加者： 東浦、波子 栗谷子/カ 藤野昭利 田中俊幸

報告者： 田中俊幸

<調査内容>

認知症及び対策事業について

<概要>

大府市では、平成 19 年に市内で発生した認知症の人の鉄道事故と、その後の家族の監督責任を巡る裁判を契機とし、認知症対策を最重要課題の一つとして位置づけている。その集大成として、平成 30 年 4 月に「大府市認知症に対する不安のないまちづくり推進条例」を施行。

この条例は、認知症の予防から認知症の人にやさしいまちづくりについて、市民、事業者、地域組織、関係機関、そして市のそれぞれの役割と責務を明確に定めている。大府市が掲げる「認知症不安ゼロのまち おおぶ」の実現に向けた取組みは、大きくは以下の 4 つの柱で構成されている。

1. 正しい知識の普及・啓発（認知症サポーターの養成、言葉の言い換え等）
2. 容態に応じた医療・介護の提供、連携の推進（認知症地域支援推進員の設置、地域支援ネットワーク会議等）
3. 見守り・地域支援体制づくり（GPS 利用支援、個人賠償責任保険、行方不明者搜索模擬訓練等）

4. 認知症の本人、家族への支援（認知症カフェ、本人ミーティング、診断助成制度等）

補足で、尼崎市では「第9期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（生き生き！！あま咲きプラン）」に基づき、認知症基本法の内容を包含した総合的な施策を推進し主な取組みは以下の通りである

- ・ 普及啓発: 認知症市民フォーラムの開催、9月の世界アルツハイマー月間に合わせた尼崎城のオレンジライトアップ、サポーター養成講座の実施。
- ・ 早期発見・相談: 「もの忘れあんしんガイド（認知症ケアパス）」の作成・配布、包括支援担当や地域包括支援センターによる相談受付。
- ・ 外出支援・安全確保: 認知症高齢者等 GPS 利用支援サービス（初期費用の負担）、SOS ネットワーク事業、個人賠償責任保険事業（市が保険料負担）。
- ・ 居場所づくり: 認知症カフェ、若年性認知症サロン（オレンジサロン）の運営支援、および「はたらく」をテーマとした居場所の提供。

<感想>

今回の視察を通じ、大府市の取組みには、本市の施策をより実効性の高いものにするための、多くの示唆が含まれていると感じた。

特に以下の３点においては、本市との違いが顕著であり、今後の取組検討課題とすべきと感じました。

① 条例による「自分事化」への促進

大府市の最大の特徴は、条例によって「市民の役割」や「事業者の役割」が具体的に定義されている点である。単なる市の責務としてではなく、地域のあらゆる主体が「認知症サポーターを養成する」「認知症に配慮した教育を実施する」といった活動を自らの責務として認識する仕組みができている。本市においても、市民フォーラム等の啓発活動は盛んに行われているが、大府市のように条例という形で地域全体の共通認識を法制化することで、より一層の「自分事化」と協力体制の強化が期待できる。

② 医療と行政の高度な連携：認知症診断助成制度（もの忘れ検診）

大府市が令和 6 年 10 月から実施する「大府もの忘れ検診（認知症診断助成制度）」は、極めて画期的な取組みである。65 歳以上の市民を対象に、認知機能の精密検査に係る自己負担額を市が助成することで、早期発見・早期対応を促している。特筆すべきは、この検診結果が 75 歳以上の運転免許証更新時における「認知機能検査」の代替資料として活用できる点である。

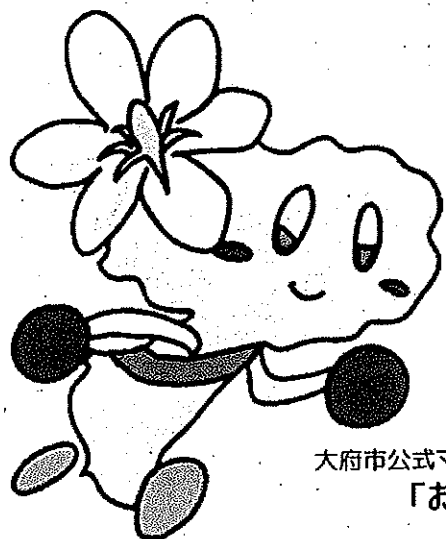
これにより、高齢者の受診動機を高めると同時に、警察・医療・行政の三者が連携した実効性のある安全対策となっている。本市においても、早期発見のための「もの忘れ気づきシート」の活用等も行われているが、大府市のような検診費用助成と社会制度（免許更新等）との連携は、今後の施策の質を向上させる大きなヒントとなる。

③ 表現の細かな配慮と「認知症ヘルプマーク」の導入

大府市では、認知症の人への偏見をなくすため、平成 30 年度より「徘徊」という言葉を使用せず、「ひとり歩き」や「外出後、行方が分からなくなる」といった適切な表現に言い換える活動を組織的に行っている。また、全国的にも珍しい「認知症ヘルプマーク」を独自に制作・配布している。これは一般的なヘルプマークとは異なり、認知症の人やその疑いがある人に特化して作成されたもので、オレンジ色を基調とし、周囲に「見守りや援助が必要であること」を知らせやすくするデザインとなっている。本市においても「希望をかなえるヘルプカード」等の取組みはあるが、より特化した視覚的なシンボルマークの活用は、外出時の安心感を高める手段として、非常に有効であると考えられる。一方、外部に認知症を知らせたくない方々も一定数おられることも配慮が必要と感じました。大府市の施策は、鉄道事故という悲しい経験を原点としつつ、それを「誰にでも起こりうる地域の課題」として昇華させ、条例や具体的な助成制度、言葉の配慮といった重層的な仕組みに落とし込んでいる。本市が目指す「認知症にやさしいまち」の実現に向け、大府市のように、単なる「支援の提供」にとどまらず、社会制

度（免許更新等）との連携や、地域住民一人ひとりの役割を明文化するアプローチを取り入れることを検討していきたいと感じました。

大府市の認知症支援に対する取組



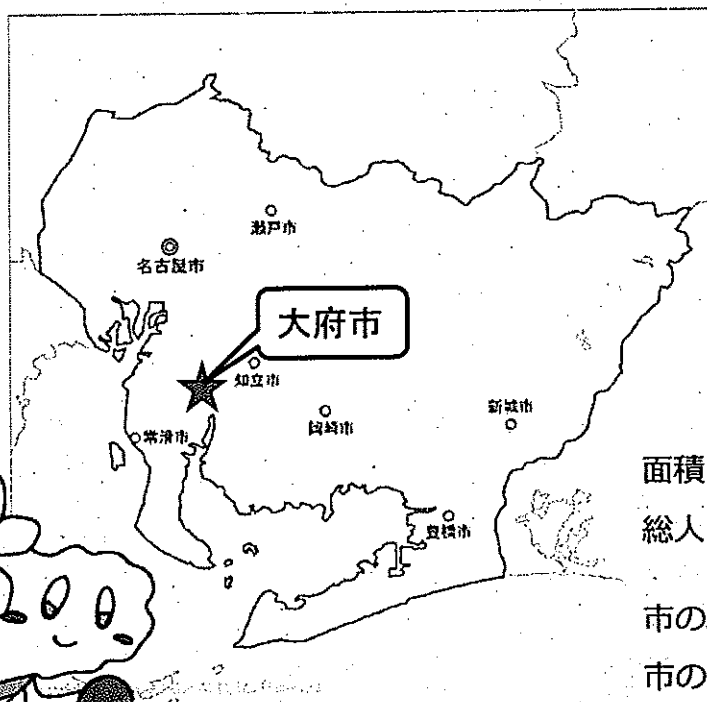
大府市 福祉部 高齢障がい支援課

大府市公式マスコットキャラクター
「おぶちゃん」

2026/7/24



はじめに 大府市について



施設等

国立長寿医療研究センター
あいち健康の森
JAあぐりタウンげんきの郷

産業

自動車関連等

農産物

ぶどう、梨、木の山芋

地域

小学校9 中学校4 高校3

大学2

自治区10

面積

33.67km²

総人口

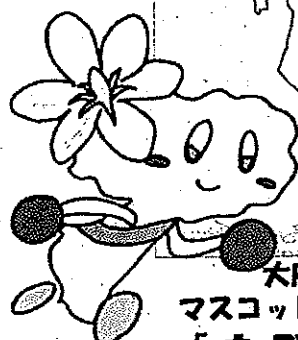
93,326人
(R8年4月1日現在)

市の木

クロガネモチ、サクラ

市の花

クチナシ、ツツジ



大府市公式
マスコットキャラクター
「おぶちゃん」

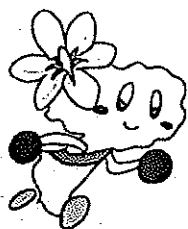
2026/7/24



はじめに 大府市の概要

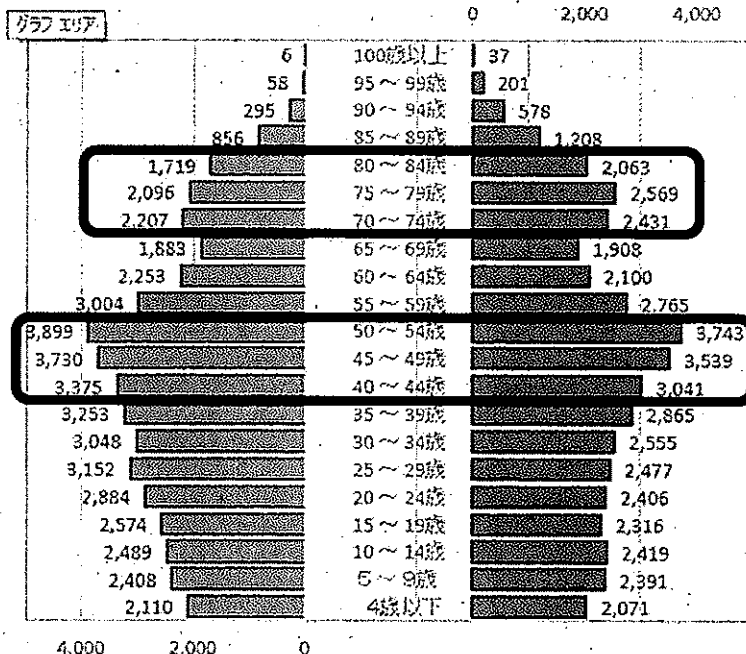
項目	データ
総人口	93,326人
高齢者数	20,163人 (21.6%)
後期 高齢者数	12,396人 (13.3%)
認知症者 (推計)	3,024人 (高齢者数の15%)

(R 8.4.1現在)



人口分布

男性 女性



2026/7/24



はじめに 人口の推移

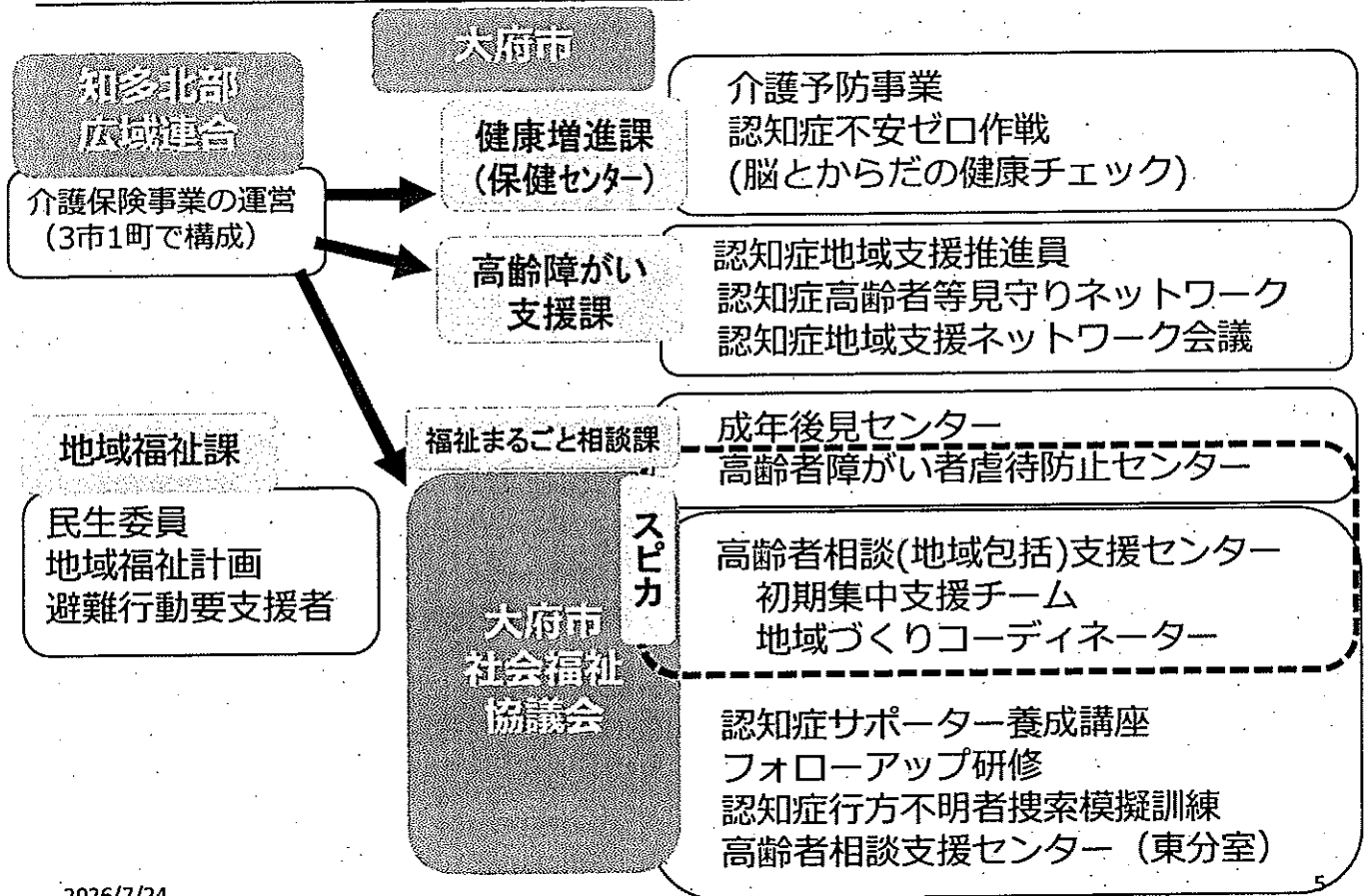
		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度 予測
総人口	人口(人)	92,881	92,694	92,892	93,112	93,326	93,391
	増加率	0.2	0.02	0.2	0.3	0.2	↗
高齢者 (65歳以上)	人口(人)	20,060	20,118	20,035	20,142	20,245	20,245
	増加率	0.9	1.2	0.8	0.5		↗
	高齢化率(%)	21.6	21.7	21.6	21.6	21.7	21.7
	人口(人)	10,210	10,583	10,210	12,114	12,396	12,643
後期高齢者 (75歳以上)	増加率	1.9	5.6	1.8	15.7	2.2	↗
	後期高齢者 の割合(%)	10.9	11.4	10.9	13.0	13.3	↗
認知症者の推計値 (人数・有病率%)		2,980	—	—	—	—	4,049
		15.0	—	—	—	—	20.0

人口は各年度4月1日、増加率は令和3年度比 ※令和3年度は前年比

2026※R8年度数値は国立社会保障・人口問題研究所による推計値を掲載



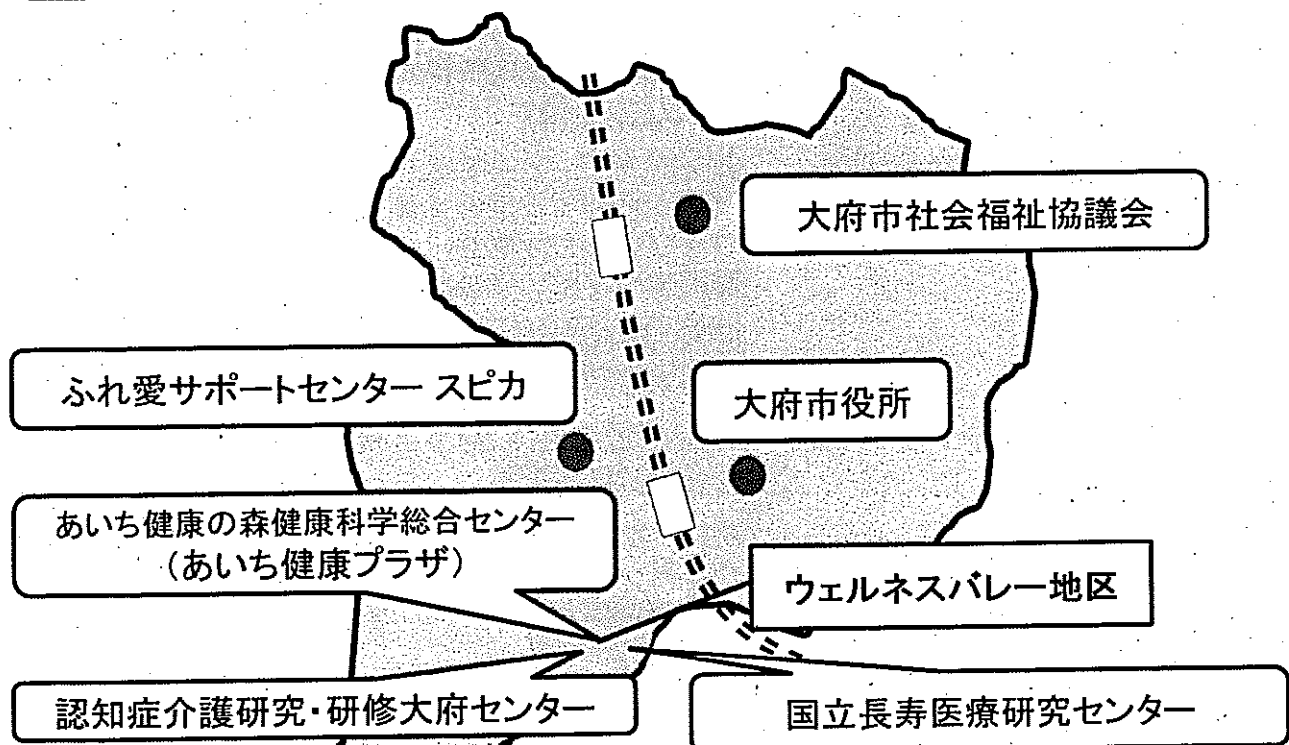
はじめに 組織体制



2026/7/24



はじめに 関係機関



2026/7/24



認知症支援の取組の推移

年度	国等の動き	市の動き
H17	「認知症を知り地域をつくる10か年構想」	
H18		共和駅の鉄道事故発生
H19	認知症地域支援体制構築等推進事業（モデル地域による実施）	認知症サポーター養成開始
H20		知多地域成年後見センター設置
H21		愛知県認知症地域資源活用モデル事業（認サポ・ケアバンメイトの養成、見守りマップ作成、行方不明者捜索訓練、市民フォーラムの開催、Mマガ配信開始等）
H22	国立長寿医療研究センターが認知症疾患医療センターに指定されたことに伴い設置	介護予防実態調査分析支援事業
H23	認知症地域支援施策推進事業	ふれ愛サポートセンタースピカ開所 認知症地域支援推進員の設置 大府健康長寿サポート事業開始
H25	認知症施策推進5か年計画（オレンジプラン）開始	

2026/7/24

7



認知症支援の取組の推移

年度	国等の動き	市の動き
H26		在宅医療介護連携拠点推進事業実施（認知症WGの設置）
H27	認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）開始	認知症総合支援事業実施（認知症地域支援推進員・嘱託医の設置、ネットワーク会議の設置等） 認知症不安ゼロ作戦開始
H28		認知症介護家族支援事業、認知症カフェ登録事業開始
H29	あいちオレンジタウン構想	大府市認知症に対する不安のないまちづくり推進条例制定
H30		認知症初期集中支援事業開始、見守りネットワーク拡充、認知症サポーター養成2万人チャレンジ、徘徊言い換え、本人ミーティングの開始
R1	認知症施策推進大綱の制定	
R2		第8期大府市高齢者福祉計画 第1期大府市認知症施策推進計画策定
R4		・認知症サポーター養成2万人チャレンジ達成 ・厚生労働省主催「第十一回健康寿命をのぼそう！アワード」で、厚生労働大臣優秀賞を受賞

2026/7/24



認知症支援の取組の推移

年度	国の動き	市の動き
R5	共生社会の実現を推進するための認知症基本法の施行	市役所チームオレンジ化に向けた取組
R6	認知症基本法の具体的施策について盛り込まれた、認知症施策推進基本計画が開始	・認知症ヘルプマークの制作（令和6年9月に完成） ・大府もの忘れ検診（認知症診断助成制度）の実施（令和6年10月から実施）
R7		・日本郵便株式会社と包括的連携に関する協定式、株式会社三菱UFJ銀行大府支店に対する感謝状贈呈式を実施（令和6年9月） ・愛知県警察と連携し、大府もの忘れ検診が運転免許証の更新時における「認知機能検査」の代替資料としての活用開始

2026/7/24

9



大府市認知症に対する不安のないまちづくり推進条例①

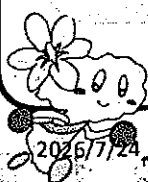
目的

認知症の予防及び認知症の人にやさしいまちづくりについて、市民、事業者、地域組織及び関係機関の役割並びに市の責務を定めることにより、認知症に関する施策及び取組を総合的に推進し、もって認知症に対する不安のないまちを実現することを目的とする。

基本理念

- ① 認知症に関する正しい知識及び理解に基づき、認知症の人及びその家族の視点に立って取り組むこと。
- ② 認知症の人をはじめ、誰もが安心して暮らすことのできる地域社会の実現を目指すこと。
- ③ 市民、事業者、地域組織、関係機関及び市が、それぞれの役割又は責務を認識し、相互に連携すること。

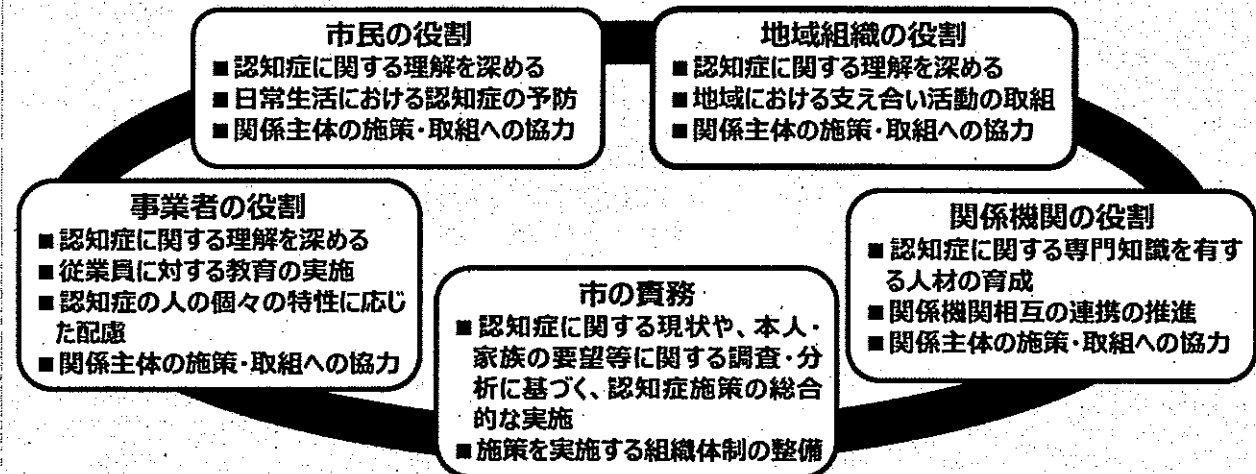
※平成29年12月26日公布 平成30年4月1日施行





大府市認知症に対する不安のないまちづくり推進条例②

関係主体の役割・責務



市の施策

正しい知識の普及

予 防

本人・家族への支援

推進体制

大府市認知症地域支援ネットワーク会議

2026/7/24

11



大府市の認知症施策

①普及啓発

- 認知症サポーターの養成
- 認知症サポーターフォローアップ研修の開催
- オレンジリングモニュメントの設置
- 認知症安心支援ガイドや条例パンフレットの作成・配布
- 広報活動の実施（広報おおぶ、CATV番組、図書館での展示等）
- 紙芝居「おれんじいろのはな」を制作

②容態に応じた医療・介護の提供、連携の推進

- 認知症地域支援推進員の設置
- 認知症初期集中支援事業
- 認知症対応力向上研修の開催
- 在宅医療・介護連携推進事業の実施（ICTの活用等）
- 認知症地域支援連携協定の締結
- 高齢者支援連絡会議開催

2026/7/24

12



大府市の認知症施策

③見守り・地域支援体制づくり

- おおぶ・あったか見守りネットワーク
- 事前情報登録制度・認知症個人賠償責任保険制度
- 行方不明者搜索模擬訓練
- 認知症高齢者見守り・搜索支援サービス（GPS端末の貸与）
- 民生委員による訪問活動、市、相談支援センターとの個別協議
- しなやかネットの構築・地域見守り活動に関する包括協定

④認知症の本人、家族への支援

- 認知症の方ご本人のつどい「コスモスクラブ」の開催
- 認知症初期集中支援事業
- おおぶ・あったか認知症カフェ登録事業
- 認知症家族支援プログラム講座、介護家族交流会の開催
- おおぶオレンジサポーター・チームオレンジおおぶ
- 大府市成年後見センター

令和4年度から市に中核機関を設置し、単独で実施

- 「もの忘れ」何でも相談室（伴走型相談支援事業の実施）

2026/7/24

大府もの忘れ検診（認知症診断助成制度）



普及啓発 「徘徊」という表現の言い換え

H30～

『徘徊』とは？ ⇒ 「目的もなくうろうろと歩きまわること」

認知症の人の行方不明には、本人なりの理由や目的がある。

- ・出かけた途中で目的を忘れる
- ・認知症の症状から道が分からなくなり帰れなくなる 等



ご本人は自分のいる場所が分からなくなり、戸惑い、不安を感じる。
ご本人の気持ちの尊重・家族の気持ちへの配慮から「徘徊」という表現
を使用せず、適切な表現に言い換えを行う。

従前の表現	言い換えの例
「徘徊」「徘徊する」 「徘徊している」	「ひとり歩き」「（〇〇のために）ひとりで 外出する」「ひとり歩き中に道に迷う」 「外出後、行方が分からなくなる」 等
「徘徊高齢者」	「行方不明となるおそれのある人」 「外出中に道に迷った人」 等
「認知症徘徊搜索模擬訓練」	「認知症行方不明者搜索模擬訓練」

2※適切な言い換える言葉がない場合は、「ひとり歩き」という表現を使用

大府市認知症サポーター養成2万人チャレンジ！

『認知症対策—冬—養成講座』
を開催しませんか

は10倍とは、この病気によって筋力や骨密度が低下することなどにより、日常生活や社会生活に影響が及んでいる状態をいい、その程度は様々です。

「認知症リポーターになるには、「認知症リポーター性」が重要」を説明する機会があります。大府市では、認知症になっても安心して暮らしを暮らしていくを目的し、認知症リポーターを養成するため、「認知症リポーター性」を評価していただける団体などに無料で研修を派遣し、講座の開催を支援しています。地域のほまじりや環境、学校、各種グループなどで、作成した冊子をぜひ活用してください！」

- ◆大若 是定年の生徒、多岐、多様な人との接し方、活用できる教材について
各校校務室に活用したグルーピングワーク、ワーク、ワークスなど
小中学生向けの教材や企業向けに産学協賛（食料品店、スーパー、マシソン）等
は、加配奨励金などの活用が望む。
- ◆時間 15分30分～90分
- ◆教材 探求学習のための教材を修得したキャリア・メイト
市販に存在し、読書・読書・読書した人を中心とした集まり（5人以上）
（読書時間、読書人、読書の楽しみなど、どのような集まりでも可能です）
- ◆会場 読書者でご利用ください。
- ◆その他 開催日は相対の上決定しますので、希望をお伝えください。
開館日、読書時間は無料です。

1975年発表された初稿には、「サーター」の語であるオレンジリングを誤記し、

07-333-0124 FAX 07-333-0125

大田印刷株式会社

5/25/2014 11:25 AM

0562 43 1805 FAX 0562 43 9589

2026/7/24

H19年からの養成講座受講者数累計
27,202人（令和8年4月現在）

- ・ 条例制定後（H30）の重点事業「累計2万人のサポーター養成にチャレンジ」を令和4年度に達成！
- ・ 令和4年度に、厚生労働省主催「第十一回健康寿命をのばそう！アワード」で、厚生労働大臣優秀賞を受賞
- ・ 令和元年度から市内全中学1年生に実施

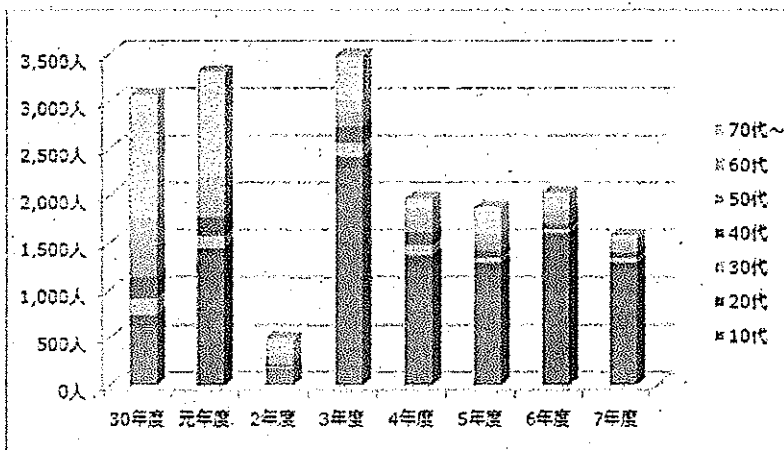


中日新聞 R4.7.19朝刊

15

令和7年度実施状況

- ▶ 実施回数 32回
 小中学校、高校生、大学生（13回）、施設・病院（3回）、
 企業、団体（4回）、行方不明者捜索模擬訓練（6回）、その他（6回）
 ▶ 養成数 1,585人（累計27,027人）



↑ 中学校での様子



サロンでの様子



2026/7/24

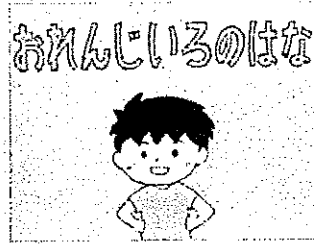


紙芝居「おれんじいろのはな」を制作

・小児期から認知症予防・理解の促進として、子どもたちにも少しでも認知症を知って欲しいという思いから、おおぶオレンジサポーター・市内の中学生と連携し、共同制作

・令和5・6年7月 おおぶ文化交流の杜アローブで行われた図書館子どもまつりにて、市内大学生による朗読を行い初披露

・紙芝居の電子化を実施。吹替えには、知多半島および愛知県の観光振興や地域活性化等の活動をしている「知多娘。」の方々にご協力いただく



おれんじいろのはな



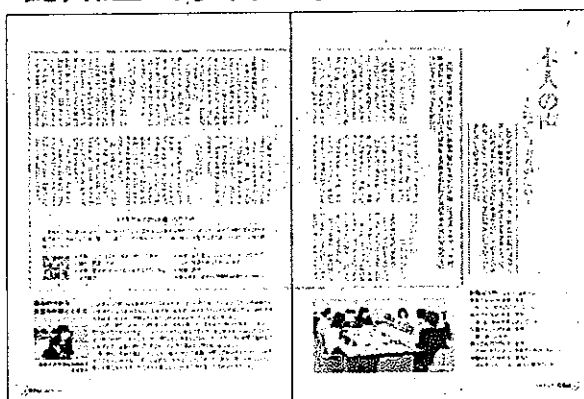
CHITA MUSUME
知多娘。



広報おおぶへの掲載

特集記事(R元年12月1日号)
認知症当事者、家族の声を取材

「みんなで支える認知症」シリーズ掲載
(平成30年度～R元年度)



みんなで支える認知症

認知症になったら、契約や金銭管理は大丈夫だろうか？ そんな悩みを抱えている方に安心して生活していくための支援制度をご紹介します。

高齢者がいばき課 電話(45)6289

- 日常生活自立支援制度とは？
認知症などで日常生活が困難な方へのために、福祉サービスを利用する際の費用などを助成する制度です。
- 対象 日常生活に不安を抱えている認知症の方などで、自分で費用などの負担をすることが困難な方
- 内容 生活支援サービスの利用補助、定期的な金銭管理サービス、介護などの福祉サービス
- 料金 ①1月1200円(生活支援サービスは無料) ②年1200円(月250円)
- 申し込み 高齢社会福祉協議会窓口へ。

その他 詳細は、社会福祉協議会(西45)1205にお問い合わせください。なお、法律上の全額保証が必要な方は、成年後見制度が利用できる場合がありますので、おまかせ成年後見センター(西30)7643に相談しましょう。

認知症の父が認知した業者から家賃の滞り止められ、契約を断りし、解約はできません。

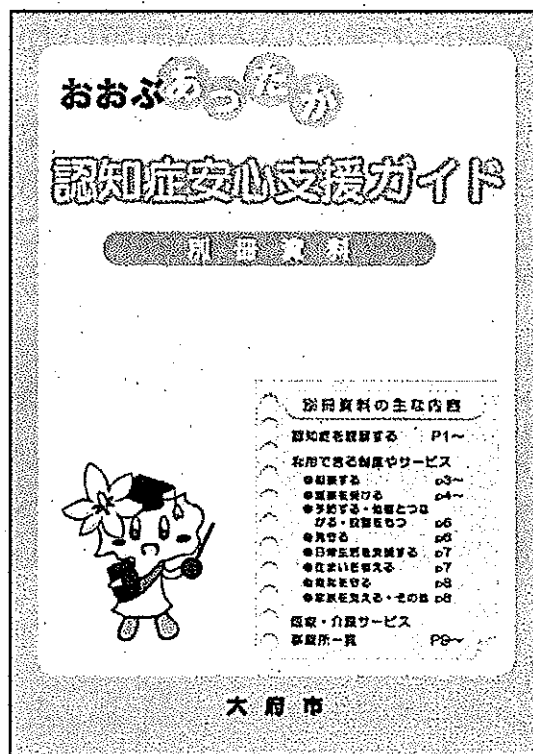
契約期間から一定の期間内であれば、賃貸者が一方的に契約を解除できるクーリング・オフ制度があります。原居生活など賃貸者が考えた上で申し込みできる契約は対象外ですが、おかしなと思ったら、早めに市生活支援センター(西45)4538に相談しましょう。



悪質な業者により契約が解除できないなどの事態は避けたいものです。契約や金銭管理は、契約期間が低下すると難しくはなりますので、事前に家族と相談のことについて話し合っておくことが大切です。



おおぶ・あったか認知症安心支援ガイドの作成・配布



2026/7/24

19

医療・介護の提供、連携の推進

『認知症地域支援推進員』の設置（1名）^{事務 1407}

- 平成23年4月～ ふれ愛サポートセンター内に推進員（嘱託）を配置
※国の市町村認知症施策総合推進事業を活用。市虐待防止センターや地域包括支援センターと連携した相談支援業務を中心に担当
- 平成27年度～ 介護保険法の地域支援事業として福祉課内に配置
- 平成27～30年度 認知症連携嘱託医を設置（月1回定例会議を開催）

推進員の主な活動

- 認知症に関する相談及び支援のコーディネート
- 医療や介護等の関係機関及び地域との連携強化 など

（具体的取組）

初期集中支援チーム員会議への参加、
認知症カフェの運営支援（カフェの啓発、主催者交流会の開催等）
認知症介護家族交流会への参加
本人ミーティングの企画・運営、
認知症サポーター養成講座講師、広報等での啓発活動

2026/7/24

20

『認知症になっても安心して暮らせるまちづくり連携協定』

認知症の人が安心して暮らせる地域づくりの
さらなる推進を目的に、大府市と、
大府市医師団、大府市歯科医師会、
大府市薬剤師会、エーザイ株式会社の
5者による協定を締結

第16回 知多北部認知症研究会のご案内

[illegible]

日時：2024年3月2日(土) 15:30～17:00
配信形式：ハイブリッド形式（ご視聴方法は裏面をご確認ください）
配信会場：東通町内、神戸市内、名古屋市内より配信
現地会場：健康の森プラザホテル2F 会議室5（定員40名）
要知：要知会費東通町民会館1-1-1 h0562-82-0235

同食の挨拶 ・・・ やすい内科 院長 安井 隆 先生

一般教壇 15:30~16:00

同会：まつしまクリニック 院長 松岡 英夫 先生

「アルツハイマー病に対する疾患修飾薬
～その開発の道程と当院における診療体制～」

国立長寿医療研究センター 先端医療開発推進センター
センター長 鈴木 啓介 先生

特別講演 16:00~17:00

同会：国立長寿医療研究センター 在宅医療・地域医療連携推進部
部長 三浦 久幸 先生

「レケンビの適正使用に向けた
認知症診療のスキーム」

国立大学法人 神戸大学大学院
保健学研究科 リハビリテーション科学領域
教授 吉和 久朋 先生

市/エーサイ株式会社



見守り・地域の支援体制づくり

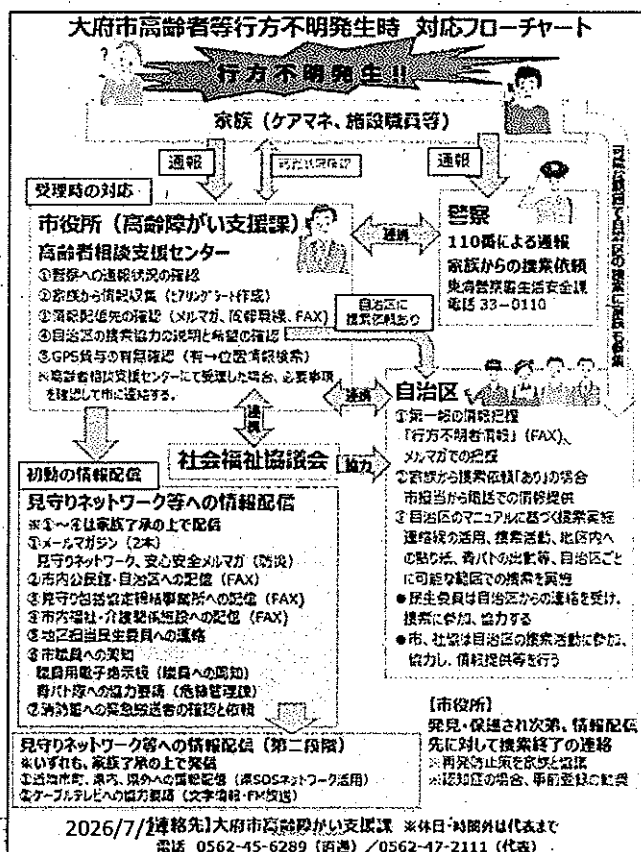
おおぶ・あったか見守りネットワーク概要

行方不明になった方々の早期発見、行方不明の防止等のため、関係機関との連携体制の構築、早期発見の仕組みづくり、家族への啓発等を実施。

- メルマガの配信による検索協力依頼
⇒ 検索協力者（見守りネットワークメルマガ登録者＝地域住民）
の募集と行方不明時の情報配信による検索協力依頼
- 関係機関・協定締結事業所等へのFAX送信等による協力依頼
⇒ 近隣市町村、地域見守り活動に関する包括協定締結事業所、
福祉関係団体、消防、警察等との検索に関する連携体制の構築
- 認知症高齢者等の身元確認調査
- 認知症高齢者等事前情報登録制度（H30年6月～）
- 認知症高齢者等個人賠償責任保険事業（H30年6月～）



見守り・地域の支援体制づくり 行方不明者発生時の体制整備



○メルマガ登録者数

年度	R4	R5	R6	R7
登録者数 (人)	1,137	1,182	790	835

※防災のメルマガでも同時配信（約4,205人）

○メルマガ配信状況・行方不明把握状況

年度	R4	R5	R6	R7
捜索依頼件数 (うち、自治区によ る捜索活動件数)	14 (6)	10 (4)	6 (2)	6 (5)
行方不明者数 (市把握分)	15	12	6	6

（各年度末現在）

○メルマガ運用事業者

知多メディアネットワーク（地元ケーブルテレビ局）
R6年度予算：396千円（月額30千円）



見守り・地域の支援体制づくり

H30～

『認知症高齢者等事前情報登録制度』

行方不明になるおそれのある方の情報を事前に市に登録することで、日ごろの見守りと、行方不明発生時の早期発見・保護に活用。

➤ 対象者（以下のいずれにも該当）

- ・ 認知症もしくは認知症の疑いのある方、又は、障がい者手帳所持者
- ・ 行方不明になる可能性のある方

➤ 登録者 143名（令和8年3月末時点）

日ごろの見守り&
もしものお守り

『認知症高齢者等個人賠償責任保険事業』

認知症の方が起こした日常生活における偶発の事故により、第三者の身体や財物に損害を与えたことで生じる法律上の賠償責任を負う場合に被る損害を補償する「個人賠償責任保険」に、市が契約者として加入。

➤ 対象者：見守りネットワークに登録した認知症の方（疑いの方や若年性の方を含む。）で、在宅の方（保険加入を希望する方のみ）

➤ 補償内容：個人賠償責任保険 1億円（示談交渉サービス付）

保険料：年額2,520円／人（市民の自己負担なし）

保険は1年更新。事前登録も1年ごとに更新手続きをしていただき最新の情報に更新することで、地域の見守りに活用します。



大府市認知症高齢者見守り・搜索支援サービス

認知症のご家族が行方不明になった時に、GPS端末を活用した位置情報探索端末機の購入に伴う初期費用を補助します。

対象者

要介護又は要支援の認定を受けており、行方不明になるおそれのある認知症の高齢者（市内在住）を、在宅で介護している家族（市内在住）
※市長が認める場合には、申請者は市外在住でも可
※介護認定を受けていない方でも、事前登録者は対象とする

3月
2月
補助

利用方法（市への登録のある業者の端末を購入し、その後に補助）

（必要に応じて）相談

高齢障がい支援課または高齢者相談支援センターでご相談ください

1 契約

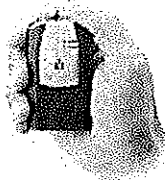
対象サービスを選択し契約、支払い、利用開始

2 市へ申請

必要書類（※）を高齢障がい支援課へ提出（利用開始から6か月以内）

3 補助金受領

交付決定後、市から指定口座に振り込み



2026/7/24



『行方不明者搜索模擬訓練』の実施

年に何回？

（約10）

認知症高齢者が行方不明になったと想定し、自治区単位で、地域住民・団体、民生児童委員、福祉関係施設者、あったか見守りネットワーク登録者などが参加。

訓練を通じ、見守りや搜索の体制づくりや、お互いに気に掛け合う人と人とのつながりづくりに役立っている。

○自治区を中心とした見守り体制づくり

搜索模擬訓練は、平成21年度に1地区モデル事業から開始し、毎年実施。平成27年度から毎年3地区に実施。

※地区ごとに行方不明者対応マニュアルを作成

※搜索訓練、マニュアル作成にあたっての企画調整、支援は、社会福祉協議会の地域づくりコーディネーターが担当



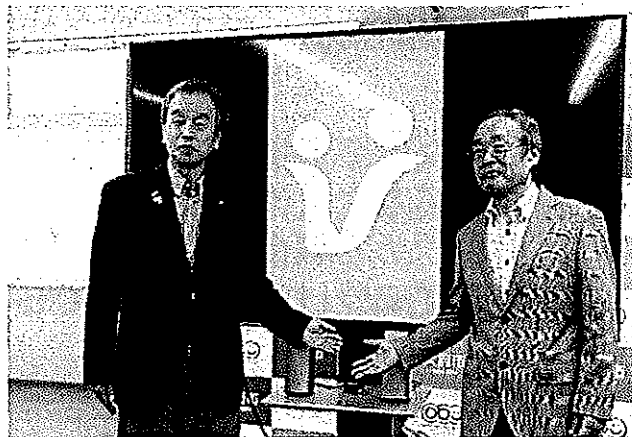
2026/7/24



『認知症ヘルプマークの制作』

令和6年9月から認知症に特化したヘルプマークを事前登録をした市民の方へ配布しています。

なお、このマークについては全国の希望する方が手に入れることができるよう、大府市と社会福祉法人大府福祉会は覚書を締結し、社会福祉法人大府福祉会にて販売をしています。

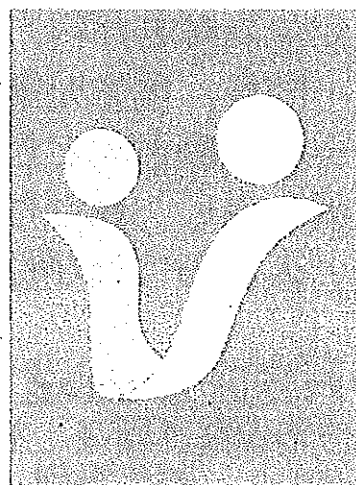


発案者の高井氏と岡村市長



『認知症ヘルプマークの制作』のスケジュール

- ・令和5年9月21日（基本法成立後初の「アルツハイマデー」）
市長と高井氏の対談で高井氏より発案
(高井氏ご発案)
- ・令和6年7月
大府市認知症地域支援ネットワーク会議にてデザイン決定
- ・令和6年9月21日（基本法施行後初の「認知症の日」）
実践型ワークショップイベント「認知症世界の歩き方」
イベント内で最優秀賞、優秀賞の表彰式を開催
- ・令和7年3月
大府市と社会福祉法人大府福祉会は認知症ヘルプマークに関する覚書を締結
- ・令和7年6月
都道府県庁と全国の自治体にサンプル品を発送
- ・令和7年9月日本郵便株式会社と包括的連携に関する協定式、
株式会社三菱UFJ銀行大府支店に対する感謝状贈呈式を実施



認知症ヘルプマーク



ヘルプマークと認知症ヘルプマークの違い

項目	ヘルプマーク	認知症ヘルプマーク
対象者	外観上、障がいや妊娠初期等のハンディキャップを持っていることが分からない人	認知症もしくは認知症の疑いがある人、行方不明になる可能性がある方
主な目的	外見からは分からなくても援助や配慮を必要としている方が、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせる	認知症の人がまちを1人で歩いているときや困っているときに、見守りや援助を受けやすくなるよう周囲の方に知らせる
デザイン	赤地に白のプラスとハートマークのデザイン	オレンジ地に黄色（本人）と白色（地域の方）が手を結ぶデザイン
導入状況	全国	大府市を含む7自治体

2026/7/24

29



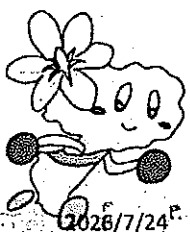
見守り・地域支援体制づくり

R4～

『認知症見守りステッカー』

“わたしたちは、認知症の方をサポートしています”

認知症サポーターがいる、または認知症に理解のあるお店や施設などに掲示しています。





認知症の本人・家族への支援

H30～

認知症の方ご本人のつどい 『コスモスクラブ』の開催

認知症の方ご本人を対象に、本人同士が主になって、自分の体験や思い、必要としていることなどを語り合う。(2か月に1回開催)

【R7年度実績】

- ・実施回数 6回
- ・参加実人員 合計28人
本人13人、家族15人
- ・内容 本人、家族のグループ別の茶話会、グラウンドゴルフ、フロッカー等

【参加者の推移】

	R4(6回)	R5(6回)	R6(6回)	R7(6回)
本人	47	45	38	22
家族	42	47	43	34
合計	89	92	81	56
平均参加者	17.8	18.4	16.2	9.3

認知症の方ご本人のつどい

コスモスクラブ

開催日時

「認知症とともに生きる」

同じ立場の人同士であることが、「自分だけじゃない」「私もそう」「こんな時はどうしてる？」... 自信になり、勇気になり、明日を過ごす力につながります。

コスモスクラブは、本人同士が主になって、自分の体験や思い、必要としていることなどを語り合い、自分たちのこれからのよりよい暮らし、暮らしやすいまちについて一緒に話し合い、活動する場です。

度々聞いて欲しいけど、話にも覚えなかった。でもやっとできる人と出会えたと思える場所を、一緒に作りませんか。

日・時：2か月に1回開催(日)にちほおひあわせください
午後2時から午後3時30分
場 所：大府市役所
対象者：認知症の方(若年性認知症を含む)ご本人、もしくは認知症の方ご本人に付き添うご家族
(認知症の方ご本人の方は、若年性認知症の方は市外在住の方でも参加可です。)
申込み：大府市役所 高齢者支援課の窓口、もしくは電話での申込み
参加費：無料

申込み・問合せ：大府市役所 高齢者支援課 0562-45-6280
主 催：大府市
協 力：社会福祉法人仁善会 認知症介護研究・研修大府センター

31



認知症の本人・家族への支援

H28～

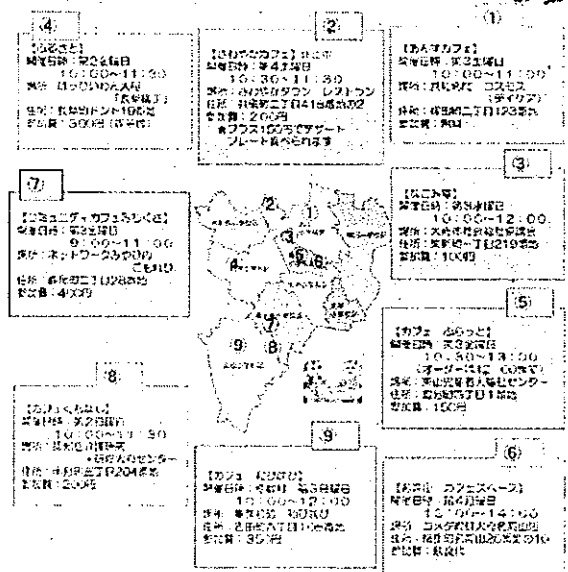
おおぶ・あったか認知症カフェ登録事業

登録要件

- ・認知症に関する情報提供、介護家族の負担軽減、啓発等を実施
- ・対象者を限定しない
- ・市内での継続的開催
- ・認知症の知識を有する者の常駐

登録状況 9ヶ所 (R8年度3月末時点)

大府市コミュニケーションスペース マップ



各所の名称や住所が変更されていることがあります。
ご確認をお願いいたします。
お問い合わせ先
大府市役所 高齢者支援課
TEL 0562-45-6280 (内線)
お電話の際は、お名前とお住まいの住所、近所にお住まいの方など
もご告知ください。かんぽで検索をしながら、ホッとしたりとときどき一緒に過ごせることを目指します。

32



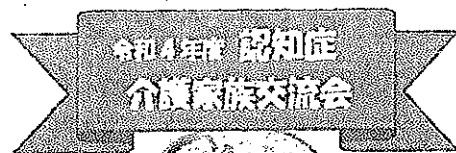
『介護家族交流会』の開催

※原則、毎月第2木曜日

(会場：ふれ愛サポートセンタースピカ)

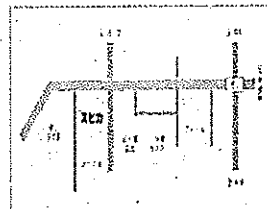
【R7年度実績】

- ・実施回数 12回
- ・参加実人員 70人 (延べ)



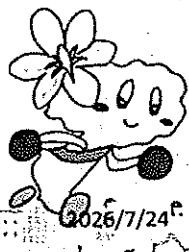
「はう、聞いてよ」
「二人の間、おんなどうしてるの？」
「思っていること、思っていること、僕があの会社員なんだ
に似て、おんなと君で取り合えるはずだぞ。」

925
4月14日 00
5月12日 15
6月 5日 06
7月14日 12
8月 8日 00
9月 8日 00
10月13日 07
11月10日 02
12月 5日 03
13120 00
2月 9日 06
3月 9日 00



電話：02-263-0000（受付時間：9時～18時）
 営業時間：午前10時～午後6時（土・日・祭日）
 定休日：月曜日（祝祭日の場合は前日）
 住所：〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1

【問い合わせ先】
大田区公営 高齢者生活支援課 電話 0562-45-6280(253)



12-1 13-1

年託

33



『認知症家族支援プログラム講座』の開催

※「認知症の人と家族の会 愛知県支部」への委託事業

認知症
家族支援
プログラム講座
受講者募集案内



認知症の方を介護する皆様へ
あなたのための講座です



國共關係で全國民衆の注意を！

1991年3月1日 星期一 晴

[illegible]

20

10-10-68 10:10

● 全米から全米にわたる大企業にわたる大企業

11-11-11

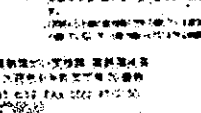
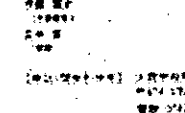
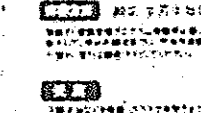
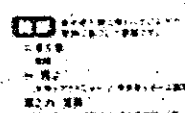
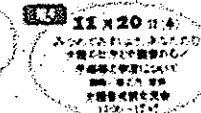
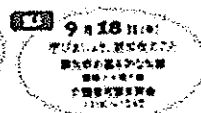
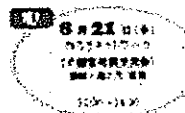
電話：0434-22-1111 傳真：0434-22-1112 地址：新潟市東區西堀町1番1号 1F
 新潟市東區西堀町1番1号 1F

1997, 1998, 1999, 2000, 2001, 2002, 2003, 2004, 2005, 2006, 2007, 2008, 2009, 2010, 2011, 2012, 2013, 2014, 2015, 2016, 2017, 2018, 2019, 2020, 2021, 2022, 2023, 2024, 2025, 2026, 2027, 2028, 2029, 2030, 2031, 2032, 2033, 2034, 2035, 2036, 2037, 2038, 2039, 2040, 2041, 2042, 2043, 2044, 2045, 2046, 2047, 2048, 2049, 2050, 2051, 2052, 2053, 2054, 2055, 2056, 2057, 2058, 2059, 2060, 2061, 2062, 2063, 2064, 2065, 2066, 2067, 2068, 2069, 2070, 2071, 2072, 2073, 2074, 2075, 2076, 2077, 2078, 2079, 2080, 2081, 2082, 2083, 2084, 2085, 2086, 2087, 2088, 2089, 2090, 2091, 2092, 2093, 2094, 2095, 2096, 2097, 2098, 2099, 2100, 2101, 2102, 2103, 2104, 2105, 2106, 2107, 2108, 2109, 2110, 2111, 2112, 2113, 2114, 2115, 2116, 2117, 2118, 2119, 2120, 2121, 2122, 2123, 2124, 2125, 2126, 2127, 2128, 2129, 2130, 2131, 2132, 2133, 2134, 2135, 2136, 2137, 2138, 2139, 2140, 2141, 2142, 2143, 2144, 2145, 2146, 2147, 2148, 2149, 2150, 2151, 2152, 2153, 2154, 2155, 2156, 2157, 2158, 2159, 2160, 2161, 2162, 2163, 2164, 2165, 2166, 2167, 2168, 2169, 2170, 2171, 2172, 2173, 2174, 2175, 2176, 2177, 2178, 2179, 2180, 2181, 2182, 2183, 2184, 2185, 2186, 2187, 2188, 2189, 2190, 2191, 2192, 2193, 2194, 2195, 2196, 2197, 2198, 2199, 2200, 2201, 2202, 2203, 2204, 2205, 2206, 2207, 2208, 2209, 2210, 2211, 2212, 2213, 2214, 2215, 2216, 2217, 2218, 2219, 2220, 2221, 2222, 2223, 2224, 2225, 2226, 2227, 2228, 2229, 2230, 2231, 2232, 2233, 2234, 2235, 2236, 2237, 2238, 2239, 2240, 2241, 2242, 2243, 2244, 2245, 2246, 2247, 2248, 2249, 2250, 2251, 2252, 2253, 2254, 2255, 2256, 2257, 2258, 2259, 2260, 2261, 2262, 2263, 2264, 2265, 2266, 2267, 2268, 2269, 2270, 2271, 2272, 2273, 2274, 2275, 2276, 2277, 2278, 2279, 2280, 2281, 2282, 2283, 2284, 2285, 2286, 2287, 2288, 2289, 2290, 2291, 2292, 2293, 2294, 2295, 2296, 2297, 2298, 2299, 2300, 2301, 2302, 2303, 2304, 2305, 2306, 2307, 2308, 2309, 2310, 2311, 2312, 2313, 2314, 2315, 2316, 2317, 2318, 2319, 2320, 2321, 2322, 2323, 2324, 2325, 2326, 2327, 2328, 2329, 2330, 2331, 2332, 2333, 2334, 2335, 2336, 2337, 2338, 2339, 2340, 2341, 2342, 2343, 2344, 2345, 2346, 2347, 2348, 2349, 2350, 2351, 2352, 2353, 2354, 2355, 2356, 2357, 2358, 2359, 2360, 2361, 2362, 2363, 2364, 2365, 2366, 2367, 2368, 2369, 2370, 2371, 2372, 2373, 2374, 2375, 2376, 2377, 2378, 2379, 2380, 2381, 2382, 2383, 2384, 2385, 2386, 2387, 2388, 2389, 2390, 2391, 2392, 2393, 2394, 2395, 2396, 2397, 2398, 2399, 2400, 2401, 2402, 2403, 2404, 2405, 2406, 2407, 2408, 2409, 2410, 2411, 2412, 2413, 2414, 2415, 2416, 2417, 2418, 2419, 2420, 2421, 2422, 2423, 2424, 2425, 2426, 2427, 2428, 2429, 2430, 2431, 2432, 2433, 2434, 2435, 2436, 2437, 2438, 2439, 2440, 2441, 2442, 2443, 2444, 2445, 2446, 2447, 2448, 2449, 2450, 2451, 2452, 2453, 2454, 2455, 2456, 2457, 2458, 2459, 2460, 2461, 2462, 2463, 2464, 2465, 2466, 2467, 2468, 2469, 2470, 2471, 2472, 2473, 2474, 2475, 2476, 2477, 2478, 2479, 2480, 2481, 2482, 2483, 2484, 2485, 2486, 2487, 2488, 2489, 2490, 2491, 2492, 2493, 2494, 2495, 2496, 2497, 2498, 2499, 2500, 2501, 2502, 2503, 2504, 2505, 2506, 2507, 2508, 2509, 2510, 2511, 2512, 2513, 2514, 2515, 2516, 2517, 2518, 2519, 2520, 2521, 2522, 2523, 2524, 2525, 2526, 2527, 2528, 2529, 2530, 2531, 2532, 2533, 2534, 2535, 2536, 2537, 2538, 2539, 2540, 2541, 2542, 2543, 2544, 2545, 2546, 2547, 2548, 2549, 2550, 2551, 2552, 2553, 2554, 2555, 2556, 2557, 2558, 2559, 2560, 2561, 2562, 2563, 2564, 2565, 2566, 2567, 2568, 2569, 2570, 2571, 2572, 2573, 2574, 2575, 2576, 2577, 2578, 2579, 2580, 2581, 2582, 2583, 2584, 2585, 2586, 2587, 2588, 2589, 2590, 2591, 2592, 2593, 2594, 2595, 2596, 2597, 2598, 2599, 2600, 2601, 2602, 2603, 2604, 2605, 2606, 2607, 2608, 2609, 2610, 2611, 2612, 2613, 2614, 2615, 2616, 2617, 2618, 2619, 2620, 2621, 2622, 2623, 2624, 2625, 2626, 2627, 2628, 2629, 2630, 2631, 2632, 2633, 2634, 2635, 2636, 2637, 2638, 2639, 2640, 2641, 2642, 2643, 2644, 2645, 2646, 2647, 2648, 2649, 2650, 2651, 2652, 2653, 2654, 2655, 2656, 2657, 2658, 2659, 2660, 2661, 2662, 2663, 2664, 2665, 2666, 2667, 2668, 2669, 2670, 2671, 2672, 2673, 2674, 2675, 2676, 2677, 2678, 26

456 256 3

100-443887-1

...and the fact that the *in vitro* and *in vivo* results are in good agreement.



34





認知症の本人・家族への支援

R3～

『おおぶオレンジサポーター活動事業』

- ・ 認知症の知識を持った者（個人）が、その知識を活かして行うボランティア活動
- ・ 希望する者をおおぶオレンジサポーターとしてあらかじめ登録し、認知症の人等を支援する活動に派遣

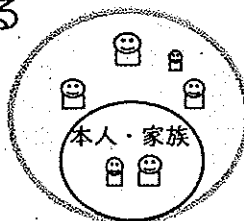


市が協力
依頼・派遣

・ コスモスクラブ
・ 認知症カフェ
・ 移動支援 など

『チームオレンジおおぶ登録事業』

- ・ 認知症の人やその家族が住み慣れた地域で安心して過ごすことができるまちづくりに寄与する活動を行う、市に登録された団体等
- ・ 認知症の人等の社会参加を支援するため、認知症の人等もチームの一員として参加できるように努める



市は、ステップアップ研修開催、広報等協力、認知症の人の紹介等を行う



2026/7/24

35



認知症の本人・家族への支援

R6.10～

『大府もの忘れ検診（認知症診断助成制度）』の実施

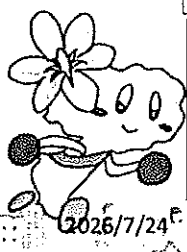
- ・ 認知症の認知機能精密検査について自己負担額を助成することにより、市民の認知症の早期発見・早期対応を促し、市の様々な認知症支援施策につなげることを目的とする。

◆助成内容

対象者	65歳以上の市民 65歳未満の者であって、認知症の確定診断を受けたもの（第2段階のみ）
助成額	委託契約で定める額（1次検査）、保険診療の自己負担額（2次検査）
申請上限	1人年間1回まで
助成方法	1次検査（第1段階）：医療機関からの市への請求による市の負担 2次検査（第2段階）：償還払

◆検査内容

第1段階 （1次検査）	認知機能検査（HDS-R） 認知機能、生活機能の評価（DASC-21）
第2段階 （2次検査）	画像検査（頭部MRIあるいは頭部CT） 血液検査等（医師の面談等の保険診療内で実施することを含む）



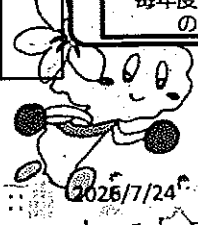
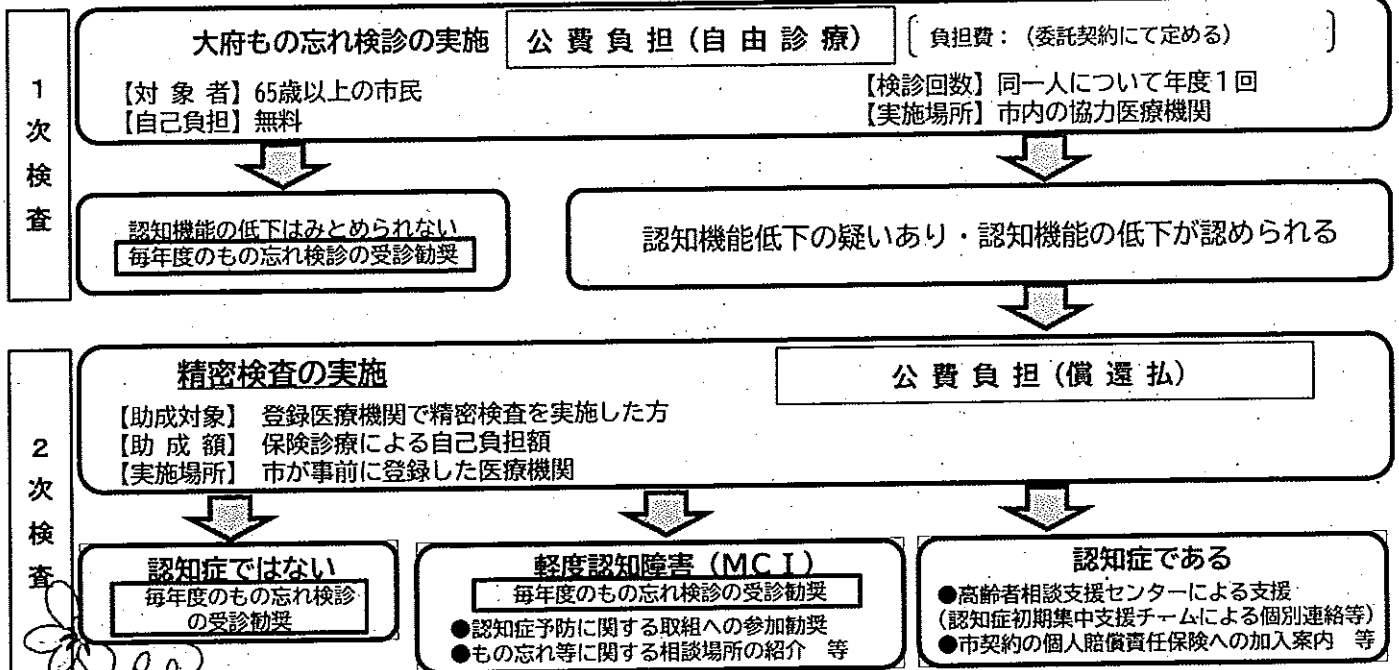
2026/7/24

36



認知症の本人・家族への支援

大府もの忘れ検診 概要



2026/7/24

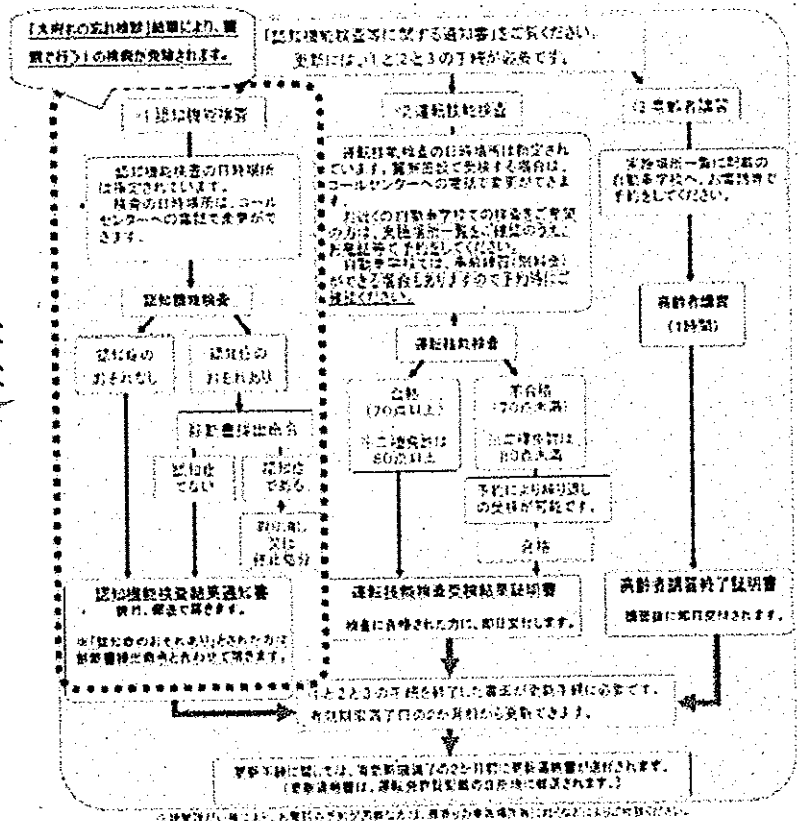
37



認知症の本人・家族への支援

運転免許証の更新時における「認知機能検査」の代替資料としての活用開始

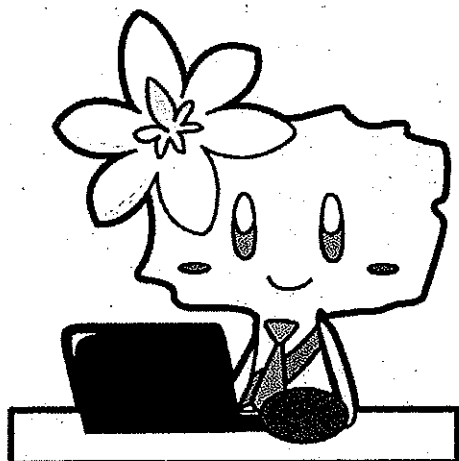
・令和7年10月より、75歳以上の方は、運転免許証を更新する際に認知機能検査を受けなければならないが、大府もの忘れ検診で明らかな認知機能の低下がみとめられない方は、認知機能検査受験が免除される



2026/7/24

38

ご清聴ありがとうございました



大府市役所
福祉部高齢障がい支援課 高齢福祉係

住所 〒474-8701
大府市中央町五丁目70番地
電話 0562-47-2111 (内361・362)
FAX 0562-47-3150
メール kourei-shougai@city.obu.lg.jp

視察報告書：岡崎市における狭あい道路拡幅整備について

【視察概要】

視察先（日時）：愛知県岡崎市 2026年7月28日（火）14:00-15:30

テーマ：狭隘道路拡幅整備事業について

目的：岡崎市の「狭あい道路の拡幅整備に関する条例」に基づく事前協議制度や市主導の整備スキームを学び、本市（尼崎市）の今後の狭あい道路対策の参考とする。

相手方：岡崎市議会 副議長 畑尻宣長、都市政策部住環境政策課 狭あい道路整備係 係長 [REDACTED]、主査 [REDACTED]

報告者：藤野勝利

参加者：堀子房一、東浦いづ子、藤野勝利、田中俊幸

1. 岡崎市の基本情報と狭隘道路の現状

- ・ **基本情報**：愛知県の西三河地域に位置し、面積約387平方キロメートル、人口約38万人の中核市。町内会加入率が90%以上と高く、地域協働の基盤が整っている。
- ・ **狭隘道路の現状**：都市計画区域内に約400kmの狭隘道路が存在。城下町や農村集落の歴史的な土地割り上に、戦後の宅地化が進んだことで、現代の車社会に不適合な道路が多く残存している。
- ・ **発生する課題**：災害時の緊急車両の進入困難、交通事故リスク、在宅福祉サービス車両の通行支障、ゴミ収集・宅配等の利便性低下、建て替え困難に伴う空き家増加など。

2. 条例に基づく整備スキーム（平成17年制定）

- ・ **条例化の目的と意義**：建築基準法を補完するルールを構築するため「岡崎市狭あい道路の拡幅整備に関する条例」を制定。最大の特徴は、建築確認申請前の市との「事前協議」を義務付けている点にある。
- ・ **市による手続き・整備の一括担い**：寄付の申し出があった場合、後退用地の測量、分筆・所有権移転登記、暫定舗装整備までを市が一貫して実施。寄付用地内の支障物（ブロック塀等）撤去費用の補助金制度も設けている。
- ・ **建築指導観点の一体的運用**：道路整備部署ではなく、建築基準法違反の解消を主目的とした「住環境政策課（狭あい道路整備係）」が担当し、セットバックラインの確定と道路整備を一体的に進めている。

3. 事業の実績と今後の課題

- ・ **20年間の実績**：事前協議数 約6,700件、寄付に伴う測量発注 約2,700件、補助金等交付 約2,000件。年間事業費は約1億1,200万円（国の社会資本整備総合交付金を活用）。
- ・ **主な課題**：寄付後の支障物未撤去トラブル、自主管理用地（自己所有のまま後退）での駐車場転用等の問題、建て替え時期のずれによる整備の長期化、総延長400kmに対する財源確保など。また、整備に対して強制力があるものではなく、あくまでも所有者の判断（改築や新築など）に委ねることとなるため、

今後は、どの程度整備が進むかは不透明であり、将来にわたる事業の継続が難しい。

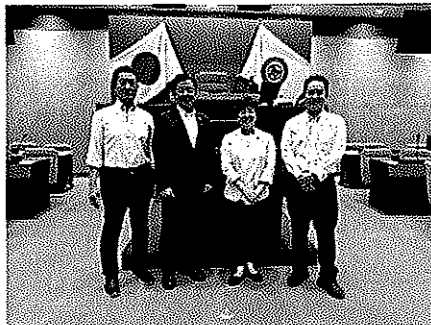
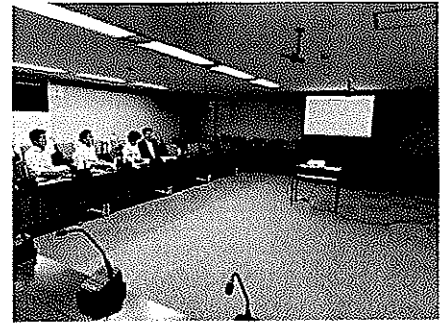
- ・今後の展開：防災上の重要路線（緊急避難路等）や市街化区域を優先整備する「重点路線の設定」、危険ブロック塀・空き家対策といった他施策との連携強化、デジタル申請の活用を推進。

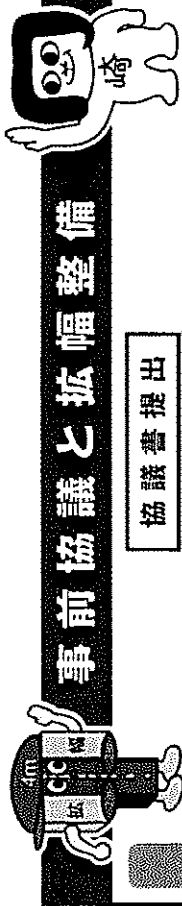
4. 質疑応答からの主な学び（所感）

- ・地域への波及効果：制度自体に強制力はないが、1件のセットバック解消が周辺住民や町内会の理解を促し、地域ぐるみの改善意識向上につながっている。
- ・地域防災との連携：狭あい道路が残る地域では、消火栓からのホース延長や地域消防団による初期消火など、ハード整備とソフト防災の連携が極めて重要である。

5. 尼崎市への展開に向けた検討課題

尼崎市においても住宅密集地や狭隘道路が多数存在する中、岡崎市のように「事前協議の義務化」や「測量・登記・暫定整備までを市が担うワンストップ支援」は、市民の負担を軽減しセットバックを確実に進めるうえで大変有効な手法である。補助対象領域の精査や登記手続き、地域防災の観点から、本市での導入・拡充に向けた具体的な制度設計の検討が望まれる。





事前協議と拡幅整備

協議書提出

事前協議

現地調査

自主管理
後退用地を寄附しない
※暫定の後退です。

寄附
後退用地等を寄附
寄附申込書提出
測量・境界立会

協議結果通知

建築確認申請提出

建築確認申請提出

支障物撤去
移設工事

建築・造成工事

建築・造成工事

外構工事完了
市へ報告

後退くい設置

工事完了

補助金申請

後退くい設置届提出

登記完了・現地確認

補助金支払

後退くい確認検査

拡幅道路整備工事

後退用地自主管理

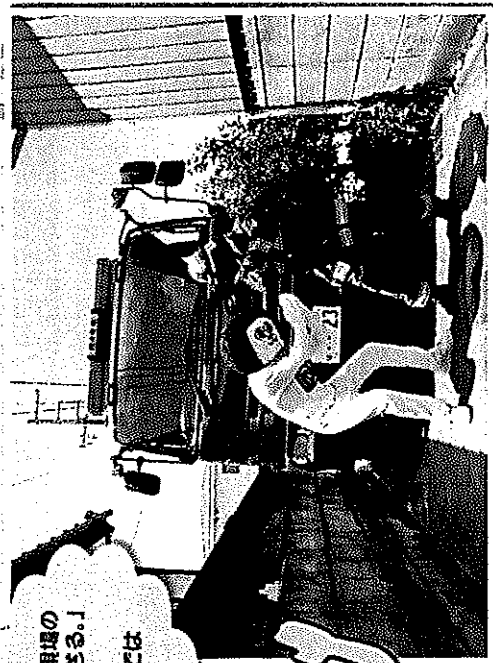


〒444-8601 岡崎市十王町二丁目9番地 岡崎市都市政策部住環境政策課 狭あい道路整備係
問合せ 事務担当・測量係 岡崎 0564-23-6848 FAX 0564-23-7528
不動産登記・補助金に関すること 0564-23-6823 E-mail jukankyo@city.okazaki.lg.jp

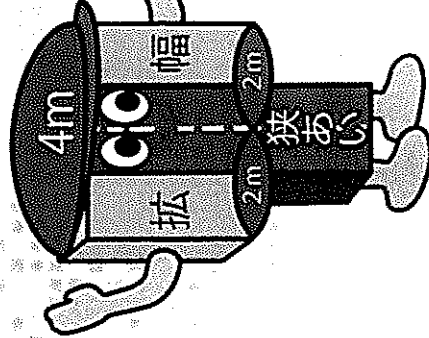
狭あい道路拡幅整備に 協力してください！

安全で住みよい環境と 災害に強いまちづくりに向けて

オカザえもん
「お願いでござる〜。もっと現場の
近くまでいってほしいでござる。」
消防士
「これ以上は狭くて、消防車では
入っていきないうですよ！」

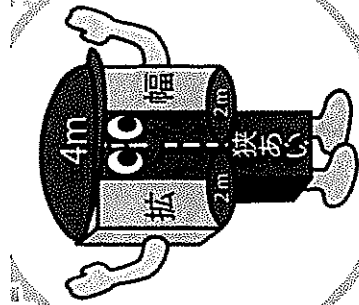


「いざというときのために
道路の拡幅に協力すると
よいでござる〜」



狭あい道路拡幅整備PRキャラクター
カクフツくん

岡崎市



安全で住みよい まちづくりのために がんばるよ!!

ボクたちの身近にある道路は、人や車が通るためだけのものじゃないんだ! 風通しや日当たりを良くしたり、災害時の避難路になったり、救急車・消防車などが乗り入れるためにもとても重要なんだ!

でも、ボクたちが利用している道路には、幅が4m未満の「狭あい道路」がたくさんあって、日常生活や災害時など、多くの面で問題がいろいろ!!

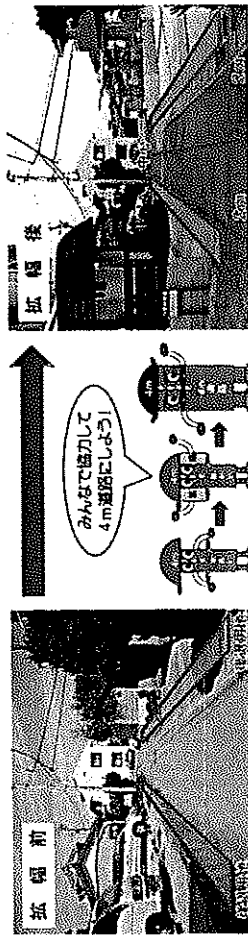
狭い道路を広げなっちゃ!

みんなの協力が要なんだ!

市では「狭あい道路拡幅整備に関する条例」を定めて、「安全で住みよい環境と災害に強いまちづくり」を進めているんだ!

狭あい道路に接した土地に建物建てる場合や、畑を駐車場にするといった「土地の利用方法」を変更する場合には、道路の中心から2m(※1)後退しないといけないんだ。

※1 道路が川、線路敷、がけ地等に沿っている場合は、道路と川等の境界線から敷地側に4m、



拡幅整備の対象となる道路

次の①～③すべてに当てはまる道路が対象だよ!

- ① 一般の通行に使用されている幅員1.8m以上4m未満の道路
- ② 道法で市が認定している道路又は市が所有する公衆用道路
- ③ 建築基準法で規定する道路

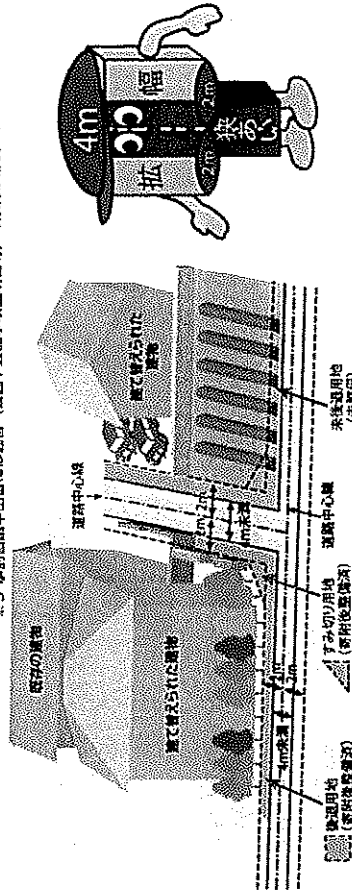
(規則の定めにより対象とならない狭あい道路があります。)

事前協議が必要だよ!

条例では狭あい道路に接した土地に建物建てる場合、建築確認申請や変更の30日前まで(※2)に、「事前協議申請書」(※3)の提出をして市長と協議すると定められているんだ! 「事前協議」とは、後退する用地について、道路にする敷地の形や管理方法について、前もって書面上で話し合っ決めていくことだよ。

※2 雨期に余裕をもって申出してください。特に雪国の場合は、数ヶ月の期間を要することがあります。

※3 事前協議申請書には図章(公園や登記事項証明書)の添付が必要です。



寄附にはメリットがたくさん!

後退用地(※4)を市に寄附するとたくさんのメリットがあるよ。詳しくはボクの帽子のなかのヒツツを見てね!

※4 後退用地=狭あい道路対象地で、その道路境界線と道路の中心から2m(※1)の間の部分。

測量 市が分算するための測量をしてくれるよ!	登記 市が分算と所有権移転の登記をしてくれるよ!
補助金 支障物を撤去する費用などの補助制度があるよ!	すみ切り用地助成金 すみ切り用地(※5)を寄附すると「奨励金」が支給されるよ! 奨励金は寄附するすみ切り部分の土地の面積に応じて支給されるよ。 (すみ切り面積×寄附年度の土地の評価額×1.35) ※5 すみ切り用地=狭あい道路が他の道路と交わる敷地の内、地部分

(規則の定めにより、奨励金や補助金の対象とならない場合があります。)

注意すること!!

注意1: 申出者等の都合により寄附を取りやめた場合には、奨励金を負担していただきます。

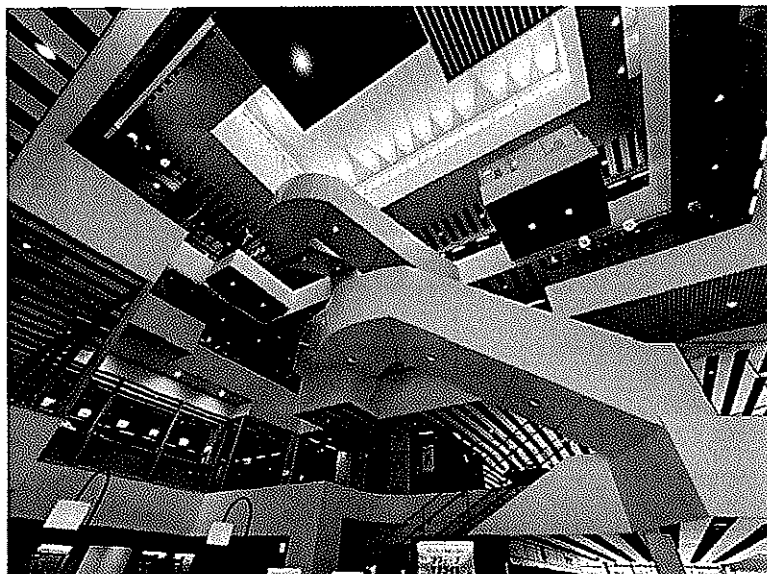
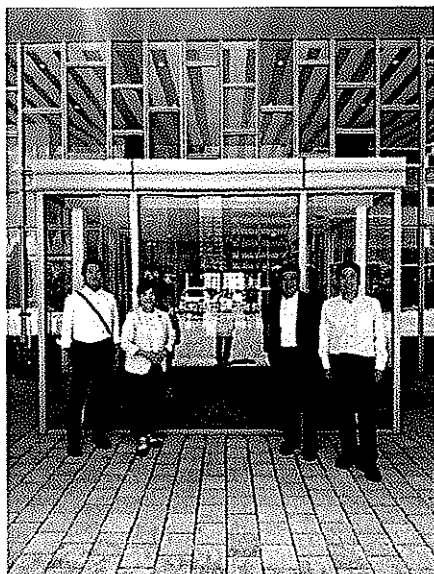
注意2: 補助金の申請には、補助項目の工事内容がわかる「工事内訳書」(※6)・領収書の写し提出が必要です。

※6 市ホームページより様式をダウンロードできます。

尼崎市 市議会公明党 会派視察 2026 年 7 月 29 日 10:00～11:30

視察先：愛知県小牧市 小牧市中央図書館

視察目的：市民の学びや交流の拠点として高い評価を受ける小牧市中央図書館の運営手法や施設整備、利用促進策を調査し、尼崎市北図書館は 4 年後（2030 年開館予定）に移転建て替えの予定となっており、来年度より設計、建設事業に入る予定である。今後の図書館行政の充実に資することを目的として視察を実施した。



報告者：蛇子 芳一

参加者：公明党尼崎市議会議員 計 4 名

参加者：藤野 和利 田中 俊幸 東浦 小夜子 蛇子 芳一

説明者：大野 竜二 館長、施設運営係長、その他関係者 2 名 計 4 名

小牧市概要 (2026 年 (令和 8 年) 7 月 1 日現在)：人口 147,627 人、71,713 世帯：面積 62.81 km²

愛知県北西部にある市で、東名・名神・中央高速道路が交わる交通の要衝の地であり内陸工業都市。一般会計予算 約 726 億円。

図書館概要 【2021 年 (令和 3 年) 3 月 27 日移転開館】

所在地：小牧市中央 1 丁目 234 番地

延床面積：6,378.79 m² (敷地面積 3,803.42 m²)

施設内容：地下 1 階地上 4 階

蔵書収納可能数：開架書架約 18 万点、閉架書架約 32 万点

雑誌：372 誌 (うちスポンサー数 13 社 23 誌、新聞 13 紙)

座席数：館内約 600 席、テラス席約 75 席

図書館地下駐車場：57 台（利用料金：入庫から 60 分無料、以降 30 分毎に 100 円）

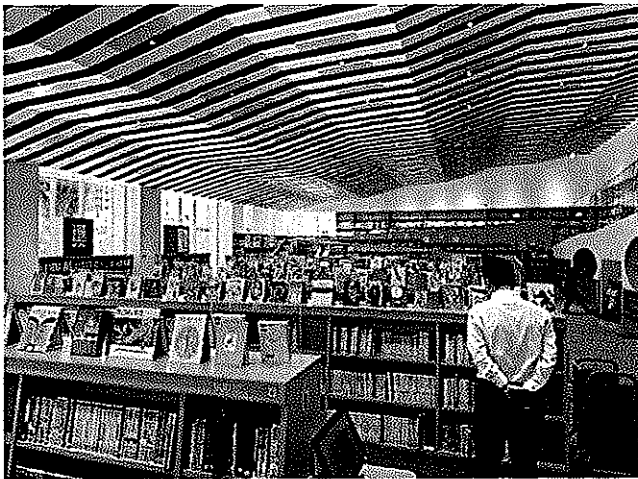
開館時間：9：00～21：00

休館日：毎月最終月曜日、年末年始（12/31～1/3）

総工費：約 35 億 8,000 万円

計画：2014 年建設発表から 7 年で開館された。

小牧市中央図書館は、「すべての方の学びを支援し、一人ひとりのウェルビーイング実現を目指す」を基本理念とし、従来「本を借りる場所」から、「学び・交流・滞在」の拠点となる図書館を目指して整備されている。館内には児童エリア、ティーンズエリア、一般閲覧室、ビジネス支援コーナー、読書バリアフリーコーナー、サイレントルーム、グループワークルーム、多目的室、カフェ（スターバックスコーヒー）などが配置され、幅広い世代が利用しやすい施設となっている。



【主な取組内容】

「滞在型図書館」として、長時間快適に過ごせる空間づくりを実施。
乳幼児から高齢者まで利用しやすいゾーニング。
ビジネス支援、郷土資料、読書バリアフリーなど専門サービスを充実。
WEB による座席予約や電子図書館などデジタルサービスを積極的に導入。
市民参加型イベントや展示を多数開催し、図書館を地域交流の場として活用。
図書館サービス計画を策定し、毎年度の事業評価や利用者アンケートを実施することで継続的な改善を図っている。

【視察を通じて感じたこと】

最も印象的であったのは、「本を読む場所」という従来の概念にとどまらず、市民が自然と集い、学び、交流できる公共空間として図書館を位置付けている点である。
施設デザインは明るく開放感があり、静かに読書を楽しむ利用者と交流スペースの利用者が共存できる工夫がなされていた。また、子育て世代や学生、高齢者など、多様な利用者ニーズを十分に考慮した施設整備が行われており、居心地の良さを感じた。
さらに、デジタルサービスの充実や利用者目線での運営改善を継続している点は、大変参考になった。

【本市への提言】

本市においても、次のような取組を検討する価値がある。

「滞在したくなる図書館」を目指した空間整備
学習・交流スペースの充実
電子図書館や WEB 予約など ICT サービスの拡充
子育て支援や高齢者支援を意識したサービス強化
地域団体・学校・企業との連携によるイベント開催
利用者アンケートを活用した継続的なサービス改善

【まとめ】

小牧市中央図書館は、市民の学び・交流・地域活性化を支える先進的な図書館であり、施設整備だけでなく、サービス計画に基づく継続的な運営改善が大きな特徴である。館長より館内を案内頂き、新図書館の運営を市民への効果的なサービスを一番に考えられた運営をされておられ、大変参考させていただきました。今後、本市においても、単なる貸出施設ではなく、市民が集い、学び、交流する「地域の知の拠点」として図書館の機能充実を図ることが重要であると感じました。また賑わい創出の図書館としての価値観の高い施設を今回の視察で得た知見を、本市の図書館行政や公共施設整備の検討に生かしていきたい。